

生物多様性保全に係る事業の平成24年度の実施状況と平成25年度の実施計画

第3回推進委員会  
平成25年5月22日  
資料1

目標①:六甲山などの森をまもり育て、健全な森の力で生きものを育み、災害を防ぎます。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・六甲山における市民・事業者等と協働した森林保全・育成の推進	○	○	○	○	建設局公園砂防部六甲山整備室、森林整備事務所	人工林整備、二次林整備	人工林整備、二次林整備	★(★★)
・生物多様性保全対策指針の策定・運用	○		○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	考え方および取り組みに関する検討	関連施策等の情報収集	
・環境影響評価の運用・拡充		○	○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	審査会開催	審査会開催	
・みどりの聖域づくり		○			建設局公園砂防部計画課	指定地域見直し案策定業務	指定地域見直し案策定業務	
・六甲山系グリーンベルト整備事業		○			建設局公園砂防部六甲山整備室	市民・企業による森づくり、森づくり講習会開催	市民・企業による森づくり、森づくり講習会開催	
・水源保全用地の取得		○			水道局技術部計画課	-	-	
・森林整備計画の作成・見直し		○			産業振興局農政部計画課	作成・見直し継続	作成・見直し継続	
・植林、里山整備に対する補助		○			産業振興局農政部計画課	里山防災林整備事業	里山防災林整備事業	
・森林法に基づく林地開発規制		○			産業振興局農政部計画課	伐採届受付	伐採届受付	
・六甲山・摩耶山エコツアーリズム		○			産業振興局観光コンベンション課	エコツアーリズム体験フェスタほか	エコツアーリズム体験フェスタほか	
・エコツアーリズムの教育旅行誘致・滞在型観光振興、民間参画・プログラム充実		○			産業振興局観光コンベンション課			

目標②:清らかで潤いのある水環境をまもり育てるとともに、生きものの移動にも配慮して森・里・川・海の水循環を保全・再生します。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・健全な水環境・水循環の確保に関する施策の推進(生物多様性保全の観点からのモニタリングの拡充など)	○	○	○		水道局技術部計画課、建設局下水道河川部計画課、環境局環境創造部環境保全指導課	下水の高度処理化、下水の有効利用、河川水生生物調査、海域水生生物調査、藻類移植経過観察	下水の高度処理化、下水の有効利用、海域水生生物調査、藻類移植経過観察	
・河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境、並びに多様な河川風景を保全あるいは創出する多自然川づくりの改修・補修時等に合わせた推進			○	○	建設局下水道河川部河川課	多自然川づくりの推進	多自然川づくりの推進	
・水産資源保護・育成等のための漁礁設置や海底耕耘などの取り組み支援		○			産業振興局農政部農水産課	海底耕耘実施(3回)	海底耕耘実施(3回)	
・臨海部の親水性の向上と環境創造型護岸による生物生息空間の創造		○			みなと総局技術部計画課・空港事業室推進課	環境創造型護岸の経過観察	環境創造型護岸の経過観察	
・須磨・舞子海岸及び海岸林(松林)の保全		○			みなと総局みなと振興部経営課、建設局公園砂防部管理課	-	-	
・つくり育てる漁業の推進		○			産業振興局農政部農水産課	マダイ、ヒラメ、オニオコゼ等の種苗生産・放流、アサリの稚貝生産・放流	マダイ、ヒラメ、オニオコゼ等の種苗生産・放流、アサリの幼貝の生産	

目標③:人と共に歩んできた多様ないのちを育む田園環境をまもり、未来へつなげていきます。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・冬期湛水水田による生物多様性の向上	○		○		環境局環境創造部環境評価共生推進室、産業振興局農政計画課	研究会・生物調査等	研究会・生物調査等	
・不耕作地の湿地環境としての利用	○		○		環境局環境創造部環境評価共生推進室、産業振興局農政計画課	生物調査・観察会等	生物調査・観察会等	
・環境保全型農業と地産地消の推進	○	○	○		産業振興局農政部計画課・農水産課	こうべ給食畑事業推進事業	こうべ給食畑事業推進事業、環境保全型農業直接支援対策	★(**)
・人と自然との共生ゾーンの推進		○			産業振興局農政部計画課	審査会・専門部会の開催、農村景観活動の助成、里づくり事業の推進	審査会・専門部会の開催、農村景観活動の助成、里づくり事業の推進、農村景観活動の助成等	
・集落周辺の自然緑地の保全・活用		○			産業振興局農政部計画課			
・野生鳥獣被害対策の推進		○			産業振興局農政部計画課	野生鳥獣被害対策・外来生物被害対策の推進	野生鳥獣被害対策・外来生物被害対策の推進	対象は主にイノシシ、アライグマ

目標④:水と緑のネットワークが形成され、街(市街地)のなかでもいたるところで神戸の生きものが見られます。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・地球温暖化対策と生物多様性保全に貢献する屋上・壁面緑化(緑のカーテンプロジェクト)	○	○	○		環境局環境創造部地球環境課、長田区まちづくり推進部まちづくり課、教育委員会事務局総務部学校整備課	種子・ネットの配布、植栽支援、コンテスト	種子・ネットの配布、植栽支援	★(**)
・地球温暖化対策と生物多様性保全に貢献する屋上・壁面緑化(AQUALネッサンス)	○	○	○		水道局技術部計画課	市民啓発、ミスト散布等	市民啓発、ミスト散布等	
・生物多様性に配慮した緑化の推進(樹木の階層構造、多様性のある樹種、野鳥の餌となる実のなる植物、昆虫の吸蜜源や食草・食樹となる樹種、循環が機能する基盤など)		○			建設局公園砂防部計画課・緑地課・管理課	-	-	
・市街地の民有緑地の保全・育成、空閑地の飾花・緑化、山麓部での空き地の活用、ふれあい市民緑地制度の活用など緑地の創出		○			建設局公園砂防部計画課・緑地課	ふれあい市民緑地の認定	ふれあい市民緑地の認定	
・街のシンボルとなる街路樹の育成		○			建設局公園砂防部緑地課・管理課	-	-	
・市街地に生きものを呼び込む水と緑のネットワークの形成(河川・街路・公園・ビオトープなどの連携)		○	○		建設局公園砂防部計画課・緑地課・管理課	新湊川公園の整備	都賀川公園の整備	
・生物生息・生育空間としての都市公園の整備		○			建設局公園砂防部計画課・緑地課	-	-	
※ 既成市街地における緑化施策の検討					都市計画総局計画部計画課	モデル地区でのシミュレーション等	モデル地区でのルール作り等	

目標⑤:すべての市民や子どもたちが神戸の自然や地球の生きものとのつながりを学び、行動し、自然を育む知恵と恵みへの感謝の心を未来に引き継ぎます。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・学校ピオトープ活用推進事業(学校、地域、企業、行政の協働により環境学習や保全活動を推進)	○		○		環境局環境創造部地球環境課	現地調査、モデル校活用支援等	専門家派遣	
・生物多様性保全シンボル拠点の整備(しあわせの森、国営明石海峡公園)	○		○	○	建設局公園砂防部緑地課	概略設計、管理運営計画方針策定等	実施設計、エントランスゾーン整備、管理運営計画案策定	
・エコタウンまちづくり事業(全市展開の推進と活動メニューの充実)		○			環境局環境創造部地球環境課	エコタウンまちづくり110地区	エコタウンまちづくりの全市展開	
・KOBENV環境大学、親子向け自然体験学習講座の開催		○			環境局環境創造部地球環境課	環境大学、こうべの自然はっけん隊	環境大学、こうべエコちやれゼミ	
・市民・事業者の行動指針の作成・普及			○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	リーフレット作成	リーフレット等による啓発	
・しあわせの村(シルバーカレッジ)などと連携した生物多様性に関する人材育成			○		環境局環境創造部地球環境課	情報交換、イベント広報協力	情報交換、イベント広報協力	
・小学校での環境体験事業の継続実施		○			教育委員会事務局指導部指導課	環境体験事業	環境体験事業	
・ウミガメエコツアーリズム		○			産業振興局観光コンベンション課	-	-	
・市民参加の森づくり(こうべ森の学校、摩耶の森クラブ)		○			建設局公園砂防部森林整備事務所	こうべ森の学校 こうべ森の小学校 摩耶の森クラブ	こうべ森の学校 こうべ森の小学校 摩耶の森クラブ	
・下水処理水を利用した親水空間での観察会等の実施		○			建設局下水道河川部計画課	処理水を活用した観察会等	処理水を活用した観察会等	
・動物園・水族園・植物園等での生物多様性に関する教育・啓発事業の展開		○			建設局王子動物園・森林植物園、産業振興局須磨海浜水族園	ジャイアントパンダ日中共同研究、アムールトラ種別調整、傷病野生鳥獣の救護、教育普及活動	ジャイアントパンダ日中共同研究、アムールトラ種別調整、傷病野生鳥獣の救護、教育普及活動、多様性啓発特別展開催等	

目標⑥:震災復興と共に立ち上がった市民の環を拡げ、市民・企業・市民団体・行政など、すべての主体がパートナーとして手を取り合い、未来を考えて行動します。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・市民団体等と企業、行政をつなぐ生物多様性プラットフォームの構築	○		○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	設置、運用開始	利用拡充	
・パートナーシップ活動助成		○			市民参画推進局参画推進部市民協働推進課	一般助成:5団体、被災地支援:17団体	一般助成、団体希望助成、被災地等支援助成	
・各区の地域提案型活動助成		○			各区まちづくり推進部まちづくり課・まちづくり推進課	市民団体等へ助成	市民団体等へ助成	
・都市公園における自然維持保全活動		○			建設局公園砂防部管理課	地域活動支援	地域活動支援	
・里山保全活動、河川愛護活動、市民の水辺事業の支援		○			環境局環境創造部地球環境課、建設局下水道河川部河川課	河川愛護団体支援、里山保全団体、水辺団体助成	河川愛護団体支援、里山保全団体、水辺団体助成	
・市民団体等との協働による生物多様性保全推進モデル事業の実施		○	○	○	環境局環境創造部環境評価共生推進室	不耕作地の湿地環境再生	不耕作地の湿地環境再生	

目標⑦:神戸の生物多様性に関する情報を、市民の共有財産として収集・蓄積し、保全に活かします。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・市民参加型生物多様性モニタリングプロジェクト	○		○	○	環境局環境創造部環境評価共生推進室	広報、評価委員会の開催等	広報、評価委員会の開催等	
・神戸版レッドデータの活用・定期的更新		○	○	○	環境局環境創造部環境評価共生推進室	レッドデータフォローアップ調査	レッドデータフォローアップ調査	
・外来生物リスト・対策マニュアルなどによる情報提供		○	○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	HP等での広報・啓発	公共工事対策マニュアルの検討	
・生物多様性WebGISの整備・運用		○	○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	生きものマップの活用	生きものマップの活用	

環境局環境評価共生推進室関係分(再掲)

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成24年度実績	平成25年度予定	平成25年度 予算
	事業	継続	短期	中長期				
・生物多様性神戸戦略の推進	○		○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	推進委員会の運営、啓発リーフレットの作成等	推進委員会の運営、啓発、プラットフォームの運営等	840千円
・市民参加型生物多様性モニタリングプロジェクト	○		○	○	環境局環境創造部環境評価共生推進室	生きものマップの運用・評価委員会の運営、生きものマップ利用ガイドの作成、レッドデータフォローアップ調査	生きものマップの運用・評価委員会の運営、生きものマップ利用ガイドの作成・活用、レッドデータフォローアップ調査	1,543千円
・田園地域における生物多様性に配慮した農業の推進	○		○		環境局環境創造部環境評価共生推進室	冬期湛水水田による生物多様性の向上、不耕作地の湿地環境再生利用	冬期湛水水田による生物多様性の向上、不耕作地の湿地環境再生利用	1,122千円

(\*) 着手・拡充時期 短期:概ね3~5年 中長期:概ね5~10年

(\*\*)★ 神戸市環境基本計画(平成23年2月策定)の先導的な取り組み

	指標・目標	何を把握するための指標か	指標の調査方法、評価期間	平成23年度(2011年度)実績	平成24年度(2012年度)実績
1	今見られない神戸の生きものの種数 〔現状〕49種 〔目標〕これ以上増やさない【2020年】	・希少種の生息・生育環境の状況 ・種の多様性	・神戸版レッドデータ2010フォローアップ調査、みんなでつくるKOBES生きものマップなど ・概ね5年ごと	今見られないとされていた49種のうち2種を再確認、神戸に産しないとされていた希少種1種を確認	神戸に産しないとされていた希少種2種を確認
2	市民参加型生物多様性モニタリングの生きもの確認種数 〔目標〕4,000種(累計) 【2015年】	・希少種・外来種・指標種等の生息・生育状況 ・種の多様性	・モニタリングの実績値(環境局調査) ・毎年	104種	978種(累計)
3	水生生物の確認種数 〔目標〕中長期的に見て種数を減少させない【2020年】	・海・河川の種の多様性 ・種数の中長期的な増減傾向など	・水生生物・藻場育成調査(環境局) ・毎年～4年ごと	西神河川12地点 ・魚類19種 ・水生小動物36種 ・付着藻類75種	北神河川10地点 ・魚類17種(20年度11種) ・水生小動物72種(20年度83種) ・付着藻類85種(20年度95種)
4	生物多様性に関する市民(20歳以上)の認知度 〔現状〕 言葉を知っている67.8% 意味も知っている33.0% 〔目標〕 言葉を知っている100% 意味も知っている60% 【2020年】	・市民の意識(生物多様性の浸透度)	・アンケート調査(市政アドバイザー、市民1万人アンケートの活用など) ・概ね2年に1回	・言葉を知っている78% ・意味も知っている40%(市政アドバイザー調査)	—
5	生物多様性保全方針などの方針を定めて取り組んでいる企業の数 〔現状〕3社 〔目標〕30社【2020年】	・事業者の意識、取組状況	・グリーンカンパニーネットワーク参加企業へのアンケート調査(環境局)など ・概ね2年に1回	—	—
6	森林の間伐等保全・育成面積(市有林) 〔現状〕30～50ha/年(人工林の間伐) 〔目標〕150ha/年【2015年】	・森林の管理状況	・建設局調査 ・毎年	31ha/年	28ha/年
7	永続性のある緑地の面積(市街化調整区域における「みどりの聖域」や「人と自然との共生ゾーン」等における主に地域制緑地と、市街化区域における公園緑地等と施設緑地の総和) 〔現状〕35,000ha 〔目標〕35,000ha以上【2025年】	・森林、田園、市街地などを含めた市域の緑地の総和	・建設局調査 ・毎年	約35,000ha	約35,000ha
8	耕地利用率(延作付面積/耕地面積) 〔現状〕76.9% 〔目標〕78%【2015年】	・保全管理田や休耕地などの耕作されていない農地の解消	・産業振興局調査 ・毎年	74.5%	(8月頃確定)
9	こうべ版GAPに取り組む農家の登録人数 〔現状〕282人 〔目標〕350人【2015年】	食の安全・安心の取り組み状況	・産業振興局調査 ・毎年	389人	377人
10	新たな栽培試験の魚種数 〔目標〕3種【2015年】	・つくり・育てる漁業の取り組み状況	・産業振興局調査 ・毎年	—	1種
11	まち中における緑の面積の割合(市街化区域における緑で覆われた面積の割合) 〔現状〕3割 〔目標〕3割以上【2025年】	・市街地の緑地の状況	・建設局調査 ・概ね5年ごと	—	—